



町に関する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

素晴らしい功績に表彰を

第2回「益城町特別表彰・町民表彰」

役場仮設庁舎で2月18日、町の振興や町民の福祉向上に貢献し、町民の模範となる行為があったと認められる個人や団体を表彰するものとして、第2回「益城町特別表彰・町民表彰」の授与式が行われました。

今回表彰されたのは、特別表彰が1人、町民表彰が2団体です。表彰された人たちとその表彰理由、受賞のコメントを紹介します。

式では、西村町長から受賞者それぞれへ表彰状と記念品が手渡されました。



表彰者全員で西村町長を囲み記念写真

特別表彰



氏名：白木桜祐さん

表彰理由：9月にマレーシアで開催された、ソフトボールの第7回男子17歳以下アジアカップの日本代表に選出され、予選リーグと決勝トーナメント計7試合のうち6試合に2番指名選手として出場。シンガポールと対戦した決勝では、本塁打、走者一掃の三塁打を放つ活躍で、日本の優勝に大きく貢献しました。

受賞コメント：「県内のクラブチームでこれからもソフトボールを続けます。さらに高いレベルを目指したいと思います」

町民表彰



団体名：音声訳ボランティアこまどり

表彰理由：平成9年に「働く婦人の家」主催講座「ボランティア朗読」の受講者13人で結成。以来、「広報ましき」「議会だより」「社協だより」などを記録媒体に録音して、視覚障がい者や高齢者に届ける活動を約22年続けています。熊本地震の際には、「ましき災害FM」のアナウンスも行っていました。

受賞コメント：「録音したものを届けた時に、本人やその家族から励ましの言葉や暖かい言葉を頂けることがうれしいです」



団体名：広安西小学校吹奏楽部

表彰理由：平成16年に町内の小中学校で初めて、町文化会館での演奏会を開催。その後も町の夏祭りでの演奏や老人ホーム、病院などでの演奏を長年行っています。熊本地震の際には、本震から2週間後に広安西小体育館の避難者約700人への「ドリームコンサート」を開催。音楽で町民に元気を届ける活動を続けています。

受賞コメント：「ドリームコンサートで涙を流しながら聞いてもらえたことが忘れられないです。これからも元気いっぱい演奏していきます」